

第15回自治会館建設委員会議事録

2019年4月19日 於：つくし野コミュニティーセンター

〈出席者〉 1・2丁目 渋川、橋本、 2丁目 鶴養、加山、木村、林、吉村

3丁目 井上、代谷、鈴木、中村、原、 4丁目 上野、南村

1. 第14回委員会以降の経過と各自治会総会での報告・討論結果について
前回3月8日に開催された第14回建設委員会以降、新年度を迎え、4自治会のそれぞれの総会が開かれ（1・2丁目-4/14、2丁目-4/6、3丁目-4/7、4丁目-4/7）、本委員会として「自治会館建設委員会の到達点と今後の取り組み」という文書に基づいて、報告を行った。
なお、手違いで4丁目自治会の議案から同文書が抜けていたため、後日配布することとした。
2. 新年度にあたり建設委員会メンバーの確認について
規約第2条は「本委員会は、4自治会の各会長と4自治会から推薦された委員（各自治会につき最大5名）をもって構成する。」と定められており、各自治会会長の交替に伴いメンバーの見直し・確認が必要となっている。
この規定は、建設委員会が、①各自治会会長が参加することにより、4自治会と直結して住民を代表する性格を確保する、②4自治会間で大きな偏りが生じないように設けられている。
今回具体的には、2丁目、3丁目自治会の委員数が、新会長が加わると5名を超えてしまうので、この取り扱いを当該自治会で議論していただくこととする。
3. つくし野「地域ふれあい基金」運営委員会対策について
2月10日、本委員会からつくし野「地域ふれあい基金」運営委員会に対し、文書で次の2点の要請を行った。
① 新年度初回の会議に、あいさつの機会を確保していただくこと。
② 貴委員会から自治会館建設委員会に委員を派遣していただくこと。
4月22日（月）「地域ふれあい基金」運営委員会が開催されるので、複数で要請に行くこととする。人選については、正副委員長で調整し相手方に申し入れることとする。
4. 事業計画（案）作成について
4自治会各総会への報告文書「到達点と今後の取り組み」に、「事業計画案を遅くとも7月までに提起して、十分な時間をとって説明と議論の場を設ける」となっており、5月の会議に各プロジェクトチームからいっそう具体化した提起を求めるとの提案があった。
これに対し、次の意見が出され、討議となり、全体の議論の中でつめることとなった。
① 各プロジェクトチームではいろいろな案が出され、議論となるが、全体会議になると会館についてのコンセプトの不一致（たとえば、「自治会館」的要素と「地域密着型」のどちらに重点をおくのか、「採算重視型」か一定の負担は不可避など）から、議論が堂々巡りとなる。会館の必要性と目的について、全体で議論することが大切ではないか。
② 7月までに事業計画（案）を示すとなれば、プロジェクトチームでもう一度議論するのでは、間に合わない。プロジェクトチームでは、すでに一定のものが出ているので、全体で議論する方がいいのではないか。
5. その他
・ 農事センター跡地の確保のために既存の防災倉庫の活用等工夫する必要性について
6. 次回会合日程 : 5月10日（金） 17時半～ 会場：つくし野センター

以上